



2025年
松葉保育園
看護師内山

たくさんの思い出でいっぱいとなった1年も締めくくりの時期となりました。4月の頃に比べ、心も体も大きく成長した子どもたち。4月から新たな気持ちでスタートを切れるように、残り1ヶ月、体調には十分気をつけましょう。1年間、いろいろとご協力ありがとうございました。



～あの時この時こんな流行がありました～

病名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
感染性胃腸炎		3			1			1		5	7	17
ヘルパンギーナ				3	3							6
インフルエンザA									4	6	4	14
伝染性膿痂疹						1		1				2
溶連菌感染症									4	1		5
手足口病			1	26	32	17	5	1				82
コロナウイルス感染症										5		5
突発性発疹										1		1
伝染性紅斑	2								2	4	1	9
マイコプラズマ肺炎				1	1							2
アデノ/RSウイルス	2											2
アデノウイルス感染症					1							1
急性結膜炎								1				1

※登園許可証により集計しています

2月の感染症

インフルエンザA・・・4名(4歳児3名・2歳児1名)
 感染性胃腸炎・・・7名(4歳児2名・3歳児3名・0歳児2名)
 伝染性紅斑・・・1名(1歳児)

3月の保健行事

6日(木) 身体測定(AM)
 新入園児健診(13:30～)
 乳健(15:00～)

子どもの花粉症について

スギは2～4月、ヒノキは3～5月、イネ科は5～9月、ブタクサは8～9月など、花粉症の原因になるものが季節ごとにあります。



近年は花粉量の増加や生活習慣の変化などから、花粉症は年々患者数が増え、発症も低年齢化してきています。花粉症は大人だけの疾患ではなく、子どもの患者も増えています。

どのくらいの年齢から花粉症にかかる可能性があるのでしょうか？

2～3歳で花粉症にかかる子どもも珍しくありません。もともとアレルギー体質の子どもは、発症のリスクが高くなる傾向にあります。症状が続くと集中力の低下につながり、遊びや勉強に影響を及ぼしたり、睡眠の妨げになったりします。子どもの花粉症は保護者が見逃さず、いち早く対処をしてあげることが必要です。子どもの花粉症の予防も、基本的には大人と同様、アレルギーとなる花粉に接触しないことが第一です。外に遊びに行くときにはナイロン製のウインドブレーカーなどを着せ、帰宅後は手洗いうがいなどを徹底しましょう。



子どもの花粉症の見分け方は？

子どもは風邪をひくことが多く、花粉症との区別が難しいかと思えます。また、子どもは症状を自分できちんと話して伝えることも難しいものです。見分ける方法としては、まずは目や鼻などにかゆみを伴うかがポイント。また、風邪だと思って薬を飲み続けても、一向によくならない場合も花粉症を疑う必要が出てきます。花粉は外に舞っているものですから、晴天の日や、風の強い日に外出したときに症状が悪化しないかも注意しておくといでしょう。

子どもの花粉症のセルフケアは？

大人も同じですが、乾燥によって目や鼻の粘膜、皮膚のバリア機能が低下すると、花粉による症状が出やすくなります。室内の湿度を高めるなどの保湿対策を行いましょう。皮膚にも炎症が出やすいため、保湿クリームなどを塗ってあげましょう。傷口があるとそこに花粉がくっついて、さらに症状が悪化することにもつながります。

ハピコワクリニックより引用



※保育園では薬の預かり(目薬や点鼻薬等含む)はできません。

受診の際には保育園に通っている事をお伝え下さい。アレルギー症状が強く日中も医師からの薬の指示がある場合には、担任にお声かけください。